

研究助成プログラム「理想の追求」募集要項 第2回募集(2010年)

1. 研究助成プログラム「理想の追求」の趣旨

キヤノン財団は、人類の英知を深め、人類の永続的な繁栄を目指す総合的な研究プロジェクトに対して助成を行います。ここでは Frontier、Welfare、Sustainability の視点から当財団が毎年研究課題を提示します。この研究課題に熱意をもって果敢に挑戦し、大きなイノベーションを起こすことが期待される、独創的で先駆的な研究プロジェクトを歓迎します。

2. 募集の概要

2010年募集は、人類にとって身近でありながら未知の部分の多い『海』に関する研究が対象です。日本は古くから海産物を食料とし海との係わりが大変深い国です。しかし、海について多くが知られているわけではなく、現在でも次々に新しいことが発見されるまだまだ未知な領域です。また近年は、海面水位・海水温・海流の変化、海洋生物の減少など海に関わる現象と地球規模の気候変動との相関が明らかとなり、海洋研究が重要な分野となってきています。

さらに、海は未利用の資源や新物質をもたらす宝庫でもあり、将来を見据えて海と人間との新たな関係を築く研究が期待されます。

2. 1. 2010年募集の研究課題

以下の課題に斬新なアイデアで異分野の方と協力して取り組むプロジェクトを期待しています。

①海に暮す生き物の不思議、未知の生態

これまで知られていない海の生き物の生態、海の生物多様性を新たな研究手法で解明

②地球の歴史、生命の起源に迫る海洋研究

海底や地殻、海底生物などの研究をもとに地球物理、生命に関する諸問題に多分野の研究者で挑む研究

③地球規模の気候変動と海の変化

気候変動に関わる知見を得るための新しい海洋観測や予測モデルの提案と実証

④海に関わる環境の観測と回復

海の環境変化の原因解明および回復方法の提案と検証(川、森などを含めた広範囲な研究も含む)

⑤海の恵みがもたらすイノベーション

海の生き物からの有用物質や遺伝子情報の利用、バイオマスへの応用

※上記に限らず斬新な『海』に関する研究があればご応募ください。

2. 2. 研究プロジェクトの構成

異分野の研究者が協力して研究課題に取り組むことにより、新たな学術領域を拓くことを期待しています。プロジェクトはこの主旨に鑑み分野を越えた研究者を含む構成としてください。主となる研究テーマは科学技術であることが条件ですが、社会科学的研究を加えるなど多面的に研究することも成果の活用面で重要と考えます。従来の概念にとらわれない新たな発想に基づく研究や研究手法をご応募ください。

2. 3. 申請条件

申請はプロジェクトリーダーが行ってください。プロジェクトリーダーの条件は、国内の大学および大学院(付属機関を含む)、大学共同利用機関、高等専門学校、その他公的研究機関等の何れかに勤務している研究者であり、当該機関で実質的に研究できる方です。助成申請に際して、所属機関の上長の承認を受けてください。共同研究者は国内外を問いませんが、プロジェクトリーダーは責任をもって、その方の研究の実施および研究費を管理してください。

当財団の助成により得られた研究成果は公表をお願いします。

なお、すでに他の機関から助成を受けている研究は助成対象とならない場合があります。また、同一申請者が当財団に複数の申請をすることはできません。

2. 4. 助成金額

1件あたり研究期間中の研究費 5,000 万円以下

新規採択総額約1億円

2. 5. 助成金の支給および用途

助成金は原則所属機関に支払われます。助成金の支給は2011年4月より開始し、研究計画に沿って毎年度支払われます。

助成金の用途は申請された研究に必要な直接経費としてください。助成金をオーバーヘッド(間接経費、一般管理費)に充てることはできません。

2. 6. 助成期間

助成決定から原則3年間

2. 7. 募集期間

2010年6月1日～2010年7月15日

※ 応募書類が期間内に必着のこと

2. 8. 応募方法

電子申請および書類申請の両方を行ってください。詳細は文末の“応募手順および応募書類の書き方”に記載されています。

① 電子申請

当財団ホームページの応募フォームより必要事項を入力し、研究助成プログラム「理想の追求」申請書(以下申請書)を添付して申請してください。送信後直ちに受付 No.が自動返信されます。

② 書類申請

①で受信した受付 No.を記入した申請書 4 部とキヤノン財団研究助成申込書(原紙のみ)を当財団にお送りください。

3. 選考方法と採否通知

3. 1. 選考方法

当財団の選考委員が書類審査による一次選考、および面接による二次選考(11月下旬を予定)を行います。

3. 2. 選考基準

選考にあたり下記項目が考慮されます。

- ・挑戦性:大きな目標が設定されている
- ・独創性:独自の解決方法を提案しており、ブレークスルーが期待される
- ・先駆性:すでに実施されているプロジェクトではなく、新規なプロジェクトである
- ・貢献性:学術あるいは社会に対し研究成果の大きな貢献が期待される
- ・研究体制:研究目標を達成するため分野を越えて必要な人材を集めたプロジェクトの構成となっている
- ・計画性:限られた期間と予算の下に目標の達成が可能な実施計画である

3. 3. 採否通知

一次選考結果は10月中に通知されます。また、二次選考結果は12月に内示の予定です。最終結果は、2011年3月開催予定の当財団理事会において正式決定後、直ちに助成決定者宛に通知されます。採否の理由についてのご照会には回答いたしかねますのでご了承下さい。

尚、助成先一覧は、正式決定後に当財団ホームページ上に掲載されます。

4. 採択決定後の義務について

4. 1. 採択決定後の提出物

助成対象者には、当財団所定の「助成承諾書」を提出していただきます。

4. 2. 贈呈式への参加

2011年4月頃に予定しています助成金贈呈式に、原則として助成決定者御本人の出席をお願いします。

4. 3. 途中経過および終了後の提出物

- ① 研究経過報告書(毎年)
- ② 研究終了報告書
- ③ 会計報告書(毎年および終了時に提出)

また、当財団の出版物へのご寄稿や発表会でのプレゼンテーションをお願いすることがあります。

4. 4. 研究発表

研究成果発表には、当財団から研究助成を受けた旨お書き添えください。英文の場合、例えば、下記のような Acknowledgement をお願いします。

This work was (partially) supported by The Canon Foundation.

なお、当財団研究助成の成果に基づく特許または実用新案などの知的財産権に関し、当財団は権利を主張しません。

5. 変更等

助成期間中に所属機関の異動、当該研究の変更や中止、助成金の使途変更、あるいは他の研究者によって研究を遂行する必要性が生じた場合などには、遅滞なく当財団までご連絡ください。

6. 個人情報取り扱いについて

申請時にご提供いただいた個人情報は、当財団研究助成の業務に必要な範囲内に限定して使用いたします。

2010年4月

一般財団法人キヤノン財団

応募手順および応募書類の書き方

a-1. 応募手順

以下の手順に従って申請してください。

なお、応募書類(キヤノン財団研究助成申込書(以下申込書)と研究助成プログラム「理想の追求」申請書(以下申請書))の当財団着をもって申請の受理となりますので、締切日に間に合うよう応募書類をお送りください。

「理想の追求」研究助成へは必ずプロジェクトを組んで申請してください。

Step.1 応募書類をホームページよりダウンロード

Step.2 申込書および申請書の記入

Step.3 応募フォームより申請書を添付して事務局へデータ送信
(電子申請)

Step.4 キヤノン財団より受付 No.を受信

Step.5 受付 No.を書類に記載の上、申込書および申請書(4部)を郵送 (書類申請)

Step.6 受付受理完了のメールを受信



a-2. 応募書類の入手

申請に必要な書類は以下をそれぞれダウンロードしてお使いください。

キヤノン財団研究助成申込書

研究助成プログラム「理想の追求」申請書

a-3. 応募書類の書き方

- ① 申込書を用い、プロジェクトのリーダーおよびメンバー各人の勤務する大学・研究機関等所属機関の上長(例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長など直属の所属長)から、研究助成申請についての承認を得てください。
- ② 応募フォームから申請書を送信する際、ファイル容量が 5MBで制限されますので、これに収まるように注意してください。
- ③ 電子申請後に送られた受付 No. を申込書と申請書の右上ボックスにご記入ください。申請書はヘッダーですべてのページに反映されますので、ヘッダーの編集で記入してください。手書きも可。
- ④ 研究内容に関する設問 1~4 すべてが申請書の 2 ページ内に収まるように記入してください。
- ⑤ 主な業績リストには、これまでの研究の中で最も重要と思われる業績(論文、著書、寄稿、招待講演、出願特許など)から5 件以内をご記入下さい。また、その下段に重要である理由を 2 行以内で記入してください。
- ⑥ 助成申請額は以下のように記入してください。
助成期間の年度ごとにご記入ください。
用途は申請された研究に必要な直接経費であることをお願いします。助成金を所属機関の才

オーバーヘッド(間接経費、一般管理経費)に使用することはできません。

記入する際の費目として以下をお使いください。

- ・設備、備品費:研究用の装置、付属品など
- ・消耗品費:材料、器具など
- ・謝金:研究補助者への謝金(学生を含む)
所属機関の規定等に則り申請してください。対象は助成研究に携わる若干名です。
- ・旅費:本研究に関わる国内、海外出張経費
- ・その他:外部への製作依頼など上記に含まれない経費
- ・奨学金:申請研究を担当する学生への学資補助

⑦ 奨学金の支給について

研究助成金の一部を所属機関が管理し、奨学金として学生に支給することが可能な場合は、助成金の一部を奨学金に使用することができます。対象者は助成対象研究に携わる若干名の学生です。支給金額は年 100 万円以下で、該当する学生が受け取る奨学金総額が他機関からの奨学金を含め、年 300 万円を越えない範囲としてください。支給期間は助成期間内で、卒業により受給資格はなくなります。当財団から直接学生に支給することはありません。

なお、奨学金を支給された学生は毎年当財団へ研究報告書をご提出ください。

⑧ 他機関からの研究資金欄には現在受領している、あるいは申請中の科研費や助成金でその受領期間の総額が 300 万円以上のものを記入してください。共同研究者として受領、申請中の研究資金も記入してください。

⑨ 研究助成申請書のページが不足の場合はページを追加しても構いませんが、容量が 5MB を越えないようご注意ください。但し、設問 1~4 はすべてが 2 ページ内に収まるようにしてください。

a-4. 応募書類の提出

当財団ホームページの応募フォームから申請後、下記書類を角 2(A4 サイズ)封筒へ入れてお送りください。FAX、e-mailでの申請は受けつけておりません。

① 申込書 プロジェクトリーダー(申請者)およびメンバー全員の申込書(原紙のみ)

② 申請書 A4 サイズで4部お願いします。

両面印刷し、各部左上隅をホチキス留めしてください。

※ ご提出いただいた応募書類は、返却致しませんので、予めご了承ください。また、不備がある場合、受付できませんので、必ず上記注意点をご確認の上、応募書類を作成してください。

<応募書類送付先>

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2

一般財団法人キヤノン財団 事務局宛

申請にあたり、当財団ホームページの「個人情報保護方針」をお読みいただきまよう、お願いします。

a-5. 申請の受付

応募書類到着後、応募の受理を電子メールでご連絡致します。

a-6. お問い合わせ

研究助成に関する質問は当財団ホームページにある「[お問い合わせ](#)」からお送りください。